
事務部だより

森永寛教授退官記念事業について

岡山大学医学部附属病院三朝分院長 森永 寛教授の退官記念事業募金に際しましては、御関係者の皆様方には絶大なる御賛同を賜りまして誠にありがとうございました。

お陰様をもちまして、計画致しておりました記念庭園、記念植樹が立派に完成致しました。また美術品（絵画）掲額につきましても、近々に選定が完了し掲額できるはこびとなりましたので、お礼旁々ご報告申し上げます。

昭和61年2月

岡山大学医学部附属病院三朝分院内
森永 寛教授退官記念会

第20回全国国立大学温泉地医学関係施設長・事務長 会議及び看護部（婦）長会議

昭和60年10月2日、3日の両日、岡山大学（三朝分院）を当番大学として、温泉地に分院等医療関係施設を有する北海道大学（登別分院）、東北大学（鳴子分院）、群馬大学（草津分院）、九州大学（生体防御医学研究所）、鹿児島大学（霧島分院）の国立大学六施設で構成されるこの会議が、今年で丁度20回目の節目にあたることもあり、医療の現場の意見交換を行うため新たに看護部（婦）長部会を加えて開催されました。

施設長、事務長会議では、各施設の当面する諸問題として、施設基準面積の見直し、組織運営の簡素合理化の検討、検査部等の中央診療施設の整備充実などを含めて、将来に向けての温泉地医療施設、大学病院としての果たすべき役割と、その方向づけについて熱心な討議が行われ、この結果を要望書として取りまとめ文部省関係機関に働きかけることとなりました。

また、看護部（婦）長部会では、看護現場での現状と問題点、特に各施設の実態を中心に活発な意見交換が行われ、看護業務の改善合理化を目指す意味で大層有意義であったこの部会を、翌年度以降も引続き開催することになりました。

会議終了後に開かれました懇親会では、岡山大学医学部附属病院長をはじめ、環境病態研究施設長など関係者をまじえて、なごやかに意見交換が行われ成功裏に閉会されました。